



国土交通省 北海道開発局  
網走開発建設部

出前講座

2024

# News Letter



川の自然体験学習会 in 常呂川（置戸町立置戸小学校）

## 川の安全講習会 & 川下り体験 実施レポート

### ◆開催概要◆

令和6年6月20日（木）に、置戸町を流れる常呂川の上流部で、置戸町立置戸小学校6年生18名を対象に「川の自然体験学習会」を開催しました。

学習会では、川で遊ぶ際の危険回避方法を学ぶ「川の安全講習会」と、ゴムボートで常呂川をラフティングする「川下り体験」、流れのある川を安全に渡る「浅瀬歩行訓練」を行いました。



川下りのルート 拓殖橋上流から種川合流点付近まで全長約3km

### ◆実施内容◆

当日は最高気温が19℃と平年より高いものの、川の水温が10℃程度と川で遊ぶには肌寒い中での開催となりました。

「川の安全講習会」では、川に近づく時の注意点や川の危ない場所について学習。“1人では川に行かない”“川に流された人がいたら助けを呼ぶ”といったことを学びました。

川下りの前に、ライフジャケットやヘルメットを着用し、ボートの座り方やパドルの扱い方などを学習しました。また、川に流された人を救出する「スローバッグ」の実演を見学しました。

準備が整ったらいよいよ「川下り体験」。児童たちは4艇に分かれて出発しました。それぞれのボートには前後に操船スタッフが配置され、安全に進むことができます。川の流量が少なくボートが動かなくなることもありましたが、児童たちは普段見ることのできない川からの景色を眺めつつ、川底の石をよけながら川下りを楽しみました。

ゴールに到着した後は「浅瀬歩行訓練」です。パドルをもった先頭1人の後ろに2人、さらに後ろに

3人と計6人で三角形を作り、先頭はパドルを杖のように上流側につけながら、後ろの5人は前の仲間のライフジャケットをつかみながら、上流を向き横歩きで川を渡りました。

児童たちにとって貴重な体験ができた学習会となりました。



川に流されたらどうする!? 対処のしかたを学びました



ちょうどいいサイズかな? 川に入る装備をしっかりと



スローバッグを投げて救助



ゴムボートで川下り



水しぶきをあげながら前進



三角形になって浅瀬歩行訓練

### ～知って得する川の安全情報 低体温症～

水は空気よりも20倍以上熱伝導率が高い性質があります。川の水は人間の体温と比べて低いことが多く、さらに流れもあるため、川の水は体温を奪いやすいと言えます。体温（直腸温度）が35℃以下になることを「低体温症」といい、軽度では寒気・震え・指先のしびれなどで動きが鈍くなり、重度になると昏睡状態になるなど命にかかわります。唇や爪が紫色になっていたら初期の低体温症のサインですが、本人が気づかないこともあります。周りの人が気づいたら川から出るよう声をかけましょう。川で遊ぶときは濡れても乾きやすい服装で遊び、着替えも用意しましょう。

本ニュースレターに関するお問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】0157-23-6118 【FAX】0157-23-6126



国土交通省 北海道開発局  
網走開発建設部

出前講座

2024

# News Letter



川の自然体験学習会 in 網走湖・網走川

## 「あばしり学」実施レポート

### ◆開催概要◆

令和6年7月13日（土）に、網走湖及び網走川で、網走市近郊の小学生16名を対象に川の自然体験学習会「あばしり学」を開催しました。

学習会では、水辺で遊ぶ際の危険回避の方法を学ぶ「安全講習会」、屋外で必要となる様々なロープの使い方を学ぶ「ロープワーク講習」、網走湖の水質環境を学ぶ「水質調査」、ライフジャケットを着て湖に浮かぶ「ぶかぶか体験」、Eボートで網走川を下る「川下り体験」を行いました。



ロープワーク・水質調査・ぶかぶか体験：女満別湖畔公園キャンプ場  
川下り：大曲湖畔園地～オホーツク文化交流センター前

### ◆実施内容◆

学習会は大空町の女満別湖畔公園キャンプ場からスタート。この日の天気は曇りで気温が20℃前後と、7月としては肌寒い中での学習会となりました。

「安全講習会」では、水辺に近づく時の注意点や危ない場所についてスタッフが説明を行い、「1人では水辺に行かない」「川に流された人がいたら助けを呼ぶ」といったことを学びました。



水辺に近づく時の注意点  
対処のしかたを学びました

ライフジャケットを着た後、2グループに分かれて「ロープワーク講習」と「水質調査」を交互に行いました。「ロープワーク講習」では、基本の「8の字結び(エイトノット)」や「とっくり結び(クラブヒッチ)」などを学びました。子どもたちは初めての

体験に悪戦苦闘していました。「水質調査」では、湖水の透明さを透視度計で測定したり、実際に湖に入って湖底の感触を確かめたりしたほか、ろ紙を用いたクロロフィルの簡易確認や、パックテスト®を用いた簡易水質調査を行いました。

次は全員で「ぶかぶか体験」です。湖に入りスタッフと子どもたちが水をかけ合って、水に慣れてきたところで、湖面であおむけになりました。ライフジャケットの浮力を感じながら、気持ちよくぶかぶか浮くことができました。

昼食後は網走市の大曲湖畔園地に移動して「川下り体験」を実施しました。まずはライフジャケットを着て、ボートでの座り方やパドルの扱い方を学習し、準備が整ったら3艇に分かれて出発です。子どもたちは普段見ることのできない湖や川からの景色を眺めつつ、みんなで力を合わせて川下りを楽しみました。ボートは無事にオホーツク文化交流センターに到着し、閉会となりました。子どもたちにとって貴重な体験ができた学習会となりました。



”とっくり結び”で  
ロープと棒を結びました



網走湖の水をコップに汲み  
色と匂いを観察しました



みんなで一斉に後ろに倒れ  
ぶかぶか体験



川下り前にパドルを持って  
操船練習をしました



みんなで力を合わせて川下り

本ニュースレターに関するお問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】0157-23-6118 【FAX】0157-23-6126